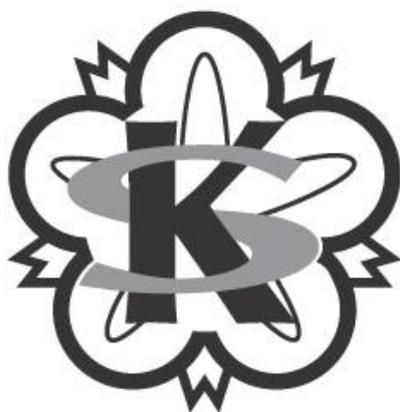


第3学年 小石川フィロソフィーⅢ

令和3年度 講座概要集



3年	組	番	氏名	
----	---	---	----	--

番号	講座名	担当教員	人数
1	平安人の心で古典を読む		13人
内 容 (目標, 進め方など)			
<p>平安時代の人々は、どのような生活をしていただろうか。そして、どのような思いを抱きながら文学作品を読んできたのだろうか。本講座は、平安時代の人々の生活様式や精神構造に多角的に迫っていくことから始める。その上で比較的短い古典作品を通読し、平安人がどのようにその作品を受容したのかについて、自分の考えを持ち、レポートやプレゼンテーションにまとめ、発表を行う。</p>			
受講希望生徒へ (生徒への注意点・要望・心構え, 選考方法など)			
<p>以下のような生徒の受講を望む。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・古典文学に興味があること。 ・原文をしっかりと読む根気強さを持っていること。 ・平安朝の生活について興味を持っていること。 			
初回までに準備しておくこと (課題や持ち物など)			
筆記用具			
費用 (見込み)			
書籍購入費が別途かかる場合がある。			

番号	講座名	担当教員	人数
2	メディアリテラシー		13人
内 容 (目標, 進め方など)			
<p>大手メディアの情報とネットの情報。どのような「情報」であれ、そこには発信する側と受信する側のバイアスがかかっている。溢れる情報を、映像や音楽、動的コンテンツなどのマルチメディアは、どのように表現し我々に発信しているのだろうか。メディアを通して発信される情報を、我々はどのように吟味し、評価していく必要があるのか、を考えていきたい。</p> <p>前半は、リップマン『世論』・サイード『イスラム報道』・山本七平『「空気」の研究』などを読み、バイアスがどのように形成されていくかを、紐解いていく。後半は、研究テーマを決め、取り組み、論文を作成する。</p>			
受講希望生徒へ (生徒への注意点・要望・心構え, 選考方法など)			
<p>「話す・聞く」「読む」「書く」という行為のほかに、「みる (見・観・視)」ということを意識し、メディアを分析していく。「みること」に興味を持てる生徒、また、「話す・聞く」「読む」「書く」「みる (見・観・視)」という力を身につけたい生徒を求む。</p>			
初回までに準備しておくこと (課題や持ち物など)			
筆記用具			
費用 (見込み)			
書籍購入費など			

番号	講座名	担当教員	人数
3	哲学の扉		13人
内容（目標、進め方など）			
<p>哲学とは、世界と人間の関係を問うことである。だから、個別的なテーマは、生命、自然、文明、善と悪、社会、自己と他者、理想、現実、真理、価値、科学、宗教、芸術、時間、身体、知性、言語など多岐にわたる。これらを、先哲の思想を手がかりにしながら、一人ひとりが考えていく。</p> <p>授業内容は、①原典資料を用いて重要な哲学者の思想を学習する、②テーマごとに受講生どうしで対話する、③自身でテーマを設定し論文を作成する、の三つが柱となる。</p>			
受講希望生徒へ（生徒への注意点・要望・心構え、選考方法など）			
<p>深く考えることが好きな人向きです。見た目の興味本位や消去法で安易に選ぶと後悔することになりますので、面倒くさがり屋は選択しないでください。</p> <p>「難しい哲学書を読む」「積極的に対話に参加する」「自分で考えて論文を作成する」ことが求められますので、こういうことに取り組める気概が必要です。</p>			
初回までに準備しておくこと（課題や持ち物など）			
筆記具			
費用（見込み）			
現時点ではなし。書籍の購入費がかかる場合もある。			

番号	講座名	担当教員	人数
4	三大宗教とその周辺		13人
内容（目標、進め方など）			
<p>1学期は、仏教、キリスト教、イスラームおよび日本の宗教の概要についての講義を聞き、宗教についての基礎的な知識を得る。2学期以降は、各自の関心に応じて、個人で調査・研究を行う。講座内で途中経過の報告・質疑応答を行い、学年末の発表会でパワーポイントを用いた発表を行う。</p>			
受講希望生徒へ（生徒への注意点・要望・心構え、選考方法など）			
<p>宗教についての予備知識は必要無いが、比較的難しい資料を読むことになるので、調査と挑戦が好きでなければ困る。</p> <p>提出物を期限までにきちんと提出しないと、自分が困るだけでなく、講座の他の人にも迷惑がかかるので、提出物の期限が守れることは、講座選択の条件である。</p>			
初回までに準備しておくこと（課題や持ち物など）			
資料コーナーにある昨年度までのレポートに目を通しておくこと良い。			
費用（見込み）			
無し			

番号	講座名	担当教員	人数
5	数学研究		26人
内 容 (目標, 進め方など)			
<p>数学の興味, 関心は人それぞれで、統計, 解析, 代数, 幾何, 折り紙, パズルなど魅力をもつ様々な側面があります。研究は個人でもグループでも構いませんが、研究テーマを設定して論文および要旨の作成、校内外でのポスター発表によるプレゼンテーションの実施など、研究について必要なことを一通り経験します。なお、この講座では、調べ学習レベルの研究内容は認めません。</p> <p>1 学期は、研究したいテーマを決め、その研究を各自で進めて夏休み中に論文を作成し、全員がその研究論文を9月の1週目に、「算数・数学の自由研究」作品コンクール (MATHコン) に応募する予定です。また、テーマを設定するにあたって専門の先生の話を知りたい場合や、研究に関係しそうな分野など、外部講師をお招きし、サイエンスカフェという形で講演をお願いすることもできます。</p> <p>2 学期は、1 学期に研究した内容をさらに深め、その後、論文を手直ししてプレゼン用のポスターを作成します。そして、12月に東京都内SSH校発表会やマスフォーラム (数学生徒研究交流会) などで、全員がポスター発表を行うのでその練習もします。</p> <p>1 月には数学ジュニアオリンピックの入賞を目指して頑張ります。(受講者全員ではなく、希望者が参加します。) ここ数年は、小石川の先輩もジュニア数学オリンピック、数学オリンピックともに予選通過をしています。また、本選で入賞をしている生徒もいます。</p> <p>3 学期は、フィロⅢ校内発表会に向けて論文を完成させ、要旨 (アブストラクト) と発表用のポスターまたはパワーポイントを作成します。</p>			
受講希望生徒へ (生徒への注意点・要望・心構え, 選考方法など)			
<p>数学が好きで楽しめる気持ちがあり、主体的に研究に取り組み、地道に努力できる生徒を希望します。</p>			
初回までに準備しておくこと (課題や持ち物など)			
<p>事前に研究したいテーマや内容をいくつか考え、それに関する書籍や生地などを持ってくる</p>			
費用 (見込み)			
無料			

番号	講座名	担当教員	人数
6	自然科学・探究活動の基礎		26人
内 容 (目標, 進め方など)			
<p>自然科学の探究活動のために必要な技能の習得を目標に進めます。具体的には、研究テーマの設定、仮説の立て方・適切な検証方法の選択、実験計画立案、統計処理(表計算ソフトの使用法含む)、発表の方法(プレゼンテーションソフトの使用法を含む)などについて、講義・演習・実習を行います。</p> <p>昨年度のテーマを次に示します。</p> <p>珪藻土の水の吸収について、ナナフシモドキの卵の強度と仕組み。サクラが周辺植物に与える影響について、桜の葉からのクマリン抽出、個人の持ち方に最適なシャープペンシルの芯の種類、簡便な金属の電気抵抗の測定法、水垢の出来やすい条件、 <i>Rorippa aquatica</i> の培養条件の検討</p>			
受講希望生徒へ (生徒への注意点・要望・心構え, 選考方法など)			
<ul style="list-style-type: none"> ・自分でテーマを設定して研究するので、科学への興味・関心が低い人、自分からの目的意識がない人には向いていません (受け身では研究ができない)。 ・研究内容によっては、器具や薬品などを購入してもらう必要があります。 ・費用負担があることを、保護者の方とともに了承してください。 ・発表会では、1年間学んだことを使い、既存のデータを元にプレゼンテーションを行います。 			
初回までに準備しておくこと (課題や持ち物など)			
小石川ノートを持ってきてください。図書館にある昨年度までの研究に目を通しておいてください。			
費用 (見込み)			
未定 (各テーマによる)			

番号	講座名	担当教員	人数
7	スポーツ		26人
内 容 (目標, 進め方など)			
<p>目的は自分が所属する運動部活動で個人スキルを向上させること。</p> <p>最終的には発表もあります。</p>			
受講希望生徒へ (生徒への注意点・要望・心構え, 選考方法など)			
<ol style="list-style-type: none"> ①テーマ設定を主体的に進めていくことができ、リーダーとしても行動できる人が受講して下さい。 ②運動部活動に入部し、自分の競技力を高めたい人が受講して下さい。 ③この講座中に実技は実施しません。 ④定員を超えた場合は、希望理由をもとに選考します。 			
初回までに準備しておくこと (課題や持ち物など)			
費用 (見込み)			

番号	講座名	担当教員	人数
8	日英言語文化研究		13人
内 容 (目標, 進め方など)			
<p>本講座では、言葉そのものを考察することや英語圏の国々と日本の比較研究などを通して、言語や文化の理解を深めます。また、それら考察や研究を土台として、特に日々の英語学習への応用など、各自の実生活に役立つような、実践的な探求を行うことを目標とします。より良い研究と効果的な発表を目指して、各自が調べ、考えたことをもとに、皆で意見を交換したり一緒に考えたりする機会も設定します。</p>			
受講希望生徒へ (生徒への注意点・要望・心構え, 選考方法など)			
<p>英語で発信されたものから情報収集しなければならないことがあります。英文を読むことを楽しめる生徒を求めます。</p>			
初回までに準備しておくこと (課題や持ち物など)			
筆記用具			
費用 (見込み)			
なし			

番号	講座名	担当教員	人数
9	国際協力について考えてみよう		13人
内 容 (目標, 進め方など)			
<p>近年、グローバル化が進み、他国の問題は地球全体の問題として取り組む必要があり、政府・NGO・NPO 等が行う国際協力活動が活発化し、またそこに興味を持ち活動する若者が増えている。地球目線で国際協力について考え、開発途上国の実態、何が必要とされているのか、何ができるのか等について、担当教員の経験を踏まえ、多角的に考察し研究する。ゲストトーク、フィールドワーク等実施予定。</p>			
受講希望生徒へ (生徒への注意点・要望・心構え, 選考方法など)			
<p>国際協力活動に興味関心を持ち、積極的に発言・参加する生徒を求めます。開発途上国、ボランティア活動に興味を持っている生徒、将来国際貢献活動に関わってみたい生徒。</p>			
初回までに準備しておくこと (課題や持ち物など)			
筆記用具、自分の気になる国と抱えている問題について調べておく			
費用 (見込み)			
フィールドワークの場合、交通費がかかることがあります (都内)			